

令和4年10月5日

市長  
(財政課)

## 令和5年度予算編成について

### 1 日本経済と国家予算の動向

現下の我が国の経済は、新型コロナウイルス感染症の対策に万全を期し、各種政策の実施により、持ち直しの動きが期待されているところであるが、ロシアのウクライナ侵攻に起因する不安定な国際情勢や気候変動問題のほか、世界的な原油価格・物価高騰による家計や企業への影響、供給面での制約等に十分注意する必要がある。

このような中、国では「経済財政運営と改革の基本方針2022」において、国内外の環境変化に対応するため、社会構造をより強靱で持続可能なものに変革するべく、人への投資と分配、グリーン化、デジタル化をはじめとする新しい資本主義に向けた改革の方針が示された。この基本方針により、社会的な課題の解決に向け計画的・重点的な投資と改革を中長期的に行い、課題解決と経済成長を同時に実現することを目指すものである。

### 2 姫路市の財政状況と今後の見通し

一方、本市財政においては、令和3年度決算は、新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する中、感染症対策や緊急経済対策に引き続き取り組みつつ、市債残高の縮減や将来に備えた基金の積立など、財政の健全性維持にも配慮した結果、55億円の実質収支を確保した。一方で、将来負担比率が前年度に比べ18.2ポイント増の19.1%となるなど、将来の財政健全性については、留意が必要となっている。

今後については、人口減少等に加え、コロナ収束後には地方財政措置の縮小が見込まれることから、市税等一般財源の伸びは期待できない一方、手柄山中央公園再整備や新美化センター整備をはじめとする老朽化した公共施設等の更新や長寿命化対策のほか、経常的経費においても増加する義務的経費への対応に加え、新施設の開業や原油価格・物価高騰による公共施設の管理運営費の増等に多額の財源が必要となってくる。

加えて、本市においても国の施策に対応し、多様化、複雑化する行政課題の解決に的確に取り組みつつ、少子化対策・子ども支援による人への投資のほか、グリーン化、デジタル

化視点での事業の見直し、優先順位の再検討により、未来に向けた投資と改革を行い、持続可能な財政構造を堅持していかなければならない。

### 3 予算編成の基本方針

令和5年度予算編成では、事務事業の抜本的な見直しを前提に、長期化する新型コロナウイルス感染症や原油価格・物価高騰の影響にも対応しつつ、財政規律を遵守した健全で持続可能な財政を基礎として、本市のまちづくりの指針となる総合計画で目指す都市像「ともに生き ともに輝く にぎわい交流拠点都市 姫路」のもと、「命」をたいせつにする市政、「くらし」を豊かにする市政、「一生」に寄り添う市政をより一層推進するとともに、新たに「活力」ある姫路を創造する市政を加えた4つのメインテーマのもと重点施策に積極的に取り組む。

#### (1) 重点取組

以下の4点を予算編成上の重点取組として、国からの補助金など財源を確保しつつ、既存事業の廃止・見直しによる削減額の範囲内で、集中的・重点的に配分する。

##### 重点取組

- ① 少子化対策・子ども支援
- ② デジタル化
- ③ グリーン化
- ④ 魅力あるまちづくり

#### (2) 主要事業

主要事業に選定された事業については、局長重点事業として優先的に予算を配分する。

#### (3) 行財政改革の徹底

「姫路市行財政改革プラン 2024」を踏まえ、組織が掲げる目標の達成に向け、アウトカム(成果)に着目し、事業の最適化に努めること。各局は自律的事業点検により、各事業の目標を明確化し、実績に基づく費用対効果を分析したうえで、廃止を含めた事業の見直し方針を予算要求に反映させること。

### 4 予算編成日程

予算要求締切:令和4年10月25日

予算案確定:令和5年 2月初旬